

2024年3月

休学・復学を考えている あなたに

1.休学・復学を考えているあなたに

このしおりを観られているあなたは、大学をしばらく休もう、すこし大学から離れてみよう、とお考えであると思います。

このしおりは、休学してどのように過ごそう、復学するにはどうすればいいのかなど休学・復学についての、不安や疑問に答え、安心して休学の期間を過ごすためのものです。

様々な事情で、休学することを考えておられると思いますが、このしおりが、休学を考えているあなた、また休学して復学、大学に戻ってくることを考えているあなたに、お役にたてればと思います。

休学は、消極的な理由から始めても、その期間の過ごし方によっては、人生のプラスとなることも多くあります。有意義な休学、そして復学につながるように、過ごしていただければと思います。

2. 休学のルールと休学できる年数・在籍できる年数

休学は、疾病その他やむを得ない理由により、引き続き2か月以上修学できない時に願い出ることができます。

休学できる期間は、学部生は最大3年、大学院生は、博士前期課程で最大2年、博士後期課程で最大3年で下表のとおりです。

ただし1回の手続きで願い出ることができる休学期間が各学部・大学院で設けられていますので、必ず教務係、大学院係に確認してください。

「休学」の基本的な考え方は、「復学」する意思があることが前提です。

	標準終業 年限	在学年限	休学できる 年数	最大在学 年数
学部(編入生)	4(2)	8(4)	3(3)	11(7)
博士前期課程	2	4	2	6
博士後期課程	3	6	3	9

3.休学の判断

休学するかどうかの判断は、留学や起業するなどの場合や、心身の健康に問題が生じた場合もあります。健康問題の場合、休養して態勢を立て直すという大きな意味があります。

休学期間は在学期間にカウントされないことは重要なポイントです。一方で休学することで同期の人たちと学年が違ってしまふことにもなります。

そこで、あなたにとって休学するメリットとデメリットを検討し、総合的に判断する必要があります。

ご家族はもちろん、指導教員や学生相談員の先生方、教務係や大学院係などの事務職員、カウンセラーやソーシャルワーカー、学校医などとも相談することをお勧めします。

メリット

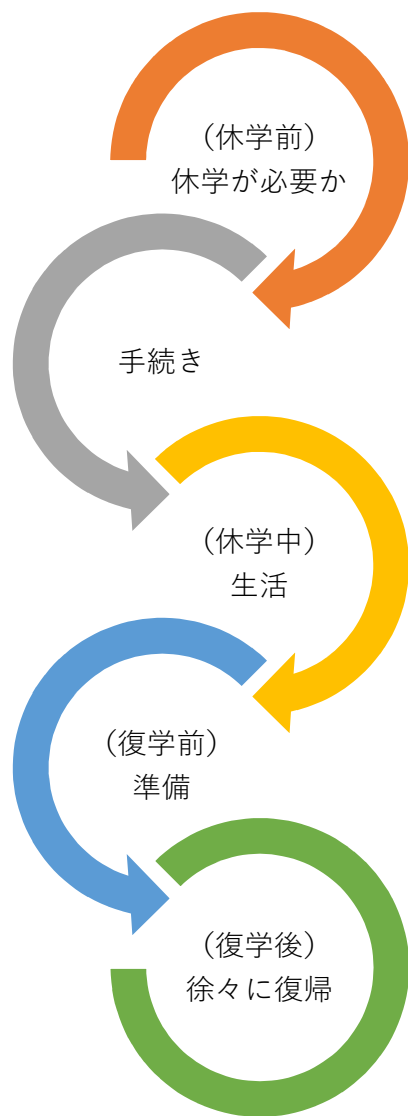
- 休養が取れる
- 学業以外の活動ができる
- 留学することができる
- 考える時間を持てる
- 病気の治療ができる
- バイトで学費が稼げる

デメリット

- 友達付き合いが減る
- 卒業や修了が遅れる
- 焦りや負い目を感じる
- 経済的な負担が増える
- 就職活動で説明を要する

4.休学から復学までのステップ

休学から復学までのステップを表にまとめました。それぞれすべきことや注意することがあります。また様々なサポートもあります。あなたの休学・復学の参考にしてください。



	ステップ	必要なこと	サポート
I	休学前 (休学検討～ 手続き)	留学したい、働きたい、休養したい、などの目的や理由と向き合い、必要であれば相談し判断。休学中にすること、しないこと、経済的なことなどを考える。 →窓口(教務係)に行き、必要な書類を準備、提出。(指導教員らの印、診断書など)	<ul style="list-style-type: none"> ・休学の手続き等のガイダンス(教務係) ・指導教員に「休学」の相談もできる。 ・カウンセリング等での「休学」相談 ・保健センターでの診察・相談 →病院受診「診断書」
II	休学中 (休学生活)	朝起きる時間をできるだけ一定に。午前中に予定を入れたり、軽度の運動をしたり、家族や友人と連絡。心身の不調を抱える場合は、実家に戻って家族のサポートを受けながら、ゆっくり休養。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員に相談することができる。 ・保健センターなどでも相談することができる。 ・定期的、継続的なカウンセリング等(生活リズム維持、受診の確認など)
III	復学前 (復学準備)	復学に必要な書類を作成し窓口へ提出。 復学後の計画(単位取得、履修科目など)を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・復学の手続き等のガイダンス(教務係) ・指導教員による「復学」相談 ・カウンセリング等での「復学」相談 場合によっては休学延長も→IIへ
IV	復学後 (修学再開)	無理せず規則正しい生活を心がけ、疲れたら休む。 最初から頑張りすぎず徐々に復帰。 家族や友人と連絡する。	<ul style="list-style-type: none"> ・復学後の履修・再履修のガイダンス(教務係) ・指導教員に相談することができる。 ・カウンセリング等での相談(ペースメイク)

5. 休学中の相談支援の利用について

休学中であっても各種の相談支援を利用できます。どこに相談すればよいか分からない場合は、学部生であれば教務係、大学院生であれば大学院係にご連絡ください。帰省している場合には、必要に応じて、近隣の医療機関、相談機関を利用してください。紹介状が必要な場合は保健センターにご相談ください。またカウンセリングはwebで予約でき、オンラインでも相談可能です。

各種相談支援の連絡先

指導教員	分からない場合は学部生であれば教務係、大学院生であれば大学院係にお尋ねください。
工学部教務係 ／工学府大学院係	https://www.tobata.kyutech.ac.jp/kougaku/r05keijiban/ 教務係 TEL: 093-884-3088 E-mail: koh-kyoumu@jimu.kyutech.ac.jp 大学院係 TEL: 093-884-3057 E-mail: koh-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp
情報工学部教務係 ／情報工学府大学院係	https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/faculty/educational-info 教務係 TEL: 0948-29-7512 E-mail: jho-kyoumu@jimu.kyutech.ac.jp 大学院係 TEL: 0948-29-7520 E-mail: jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp
生命体工学研究科 教務・入試係	https://www.lsse.kyutech.ac.jp/institutional/ (※VPN接続要) 教務・入試係 TEL: 093-695-6006 E-mail: sei-nyushi@jimu.kyutech.ac.jp
保健センター	https://hoken.jimu.kyutech.ac.jp/ 戸畑 TEL: 093-884-3065 E-mail: hok-hoken@jimu.kyutech.ac.jp 飯塚 TEL: 0948-29-7513 E-mail: hok-jhohoken@jimu.kyutech.ac.jp 若松 TEL: 093-695-6017 E-mail: hok-sehoken@jimu.kyutech.ac.jp
カウンセリング室	https://hoken.jimu.kyutech.ac.jp/counseling/index.html
学生総合支援室	https://sog-sien.jimu.kyutech.ac.jp/ 全学 093-884-3726
学生相談員	https://sog-sien.jimu.kyutech.ac.jp/soudan/
キャリア支援室	https://www.kyutech.ac.jp/career/inquiry.html 工学部/工学府 TEL: 093-884-3539 E-mail: koh-career@jimu.kyutech.ac.jp 情報工学部/情報工学府 TEL: 0948-29-7521/7522 E-mail: jho-career@jimu.kyutech.ac.jp 生命体工学研究科 TEL: 093-695-6147 E-mail: sei-career@jimu.kyutech.ac.jp

6.休学・復学Q&A

- 留学で、休学する時の手続きは？
- 心身の不調で休学する時は？
- 学業の問題で休学する時は？
- 経済的な理由で休学する時は？
- 留学生が休学する時は？
- 休学すると就職に不利になる？
- 休学中の学費は？
- 奨学金はどうなる？
- 授業料免除の申請をしている場合は？
- 各種証明書及び学割は利用できる？
- LiveCampus及び図書館等学内施設は利用できる？
- 休学している場合、定期健康診断は？
- 復学するには？



6.休学・復学Q&A

- 留学で、休学する時の手続きは？
→留学には、休学をせずに、協定大学などに留学する制度もあります。休学して留学する方法もありますが、まずは、各キャンパスの学生係に問い合わせてください。

- 心身の不調で休学する時は？
→大学に出てくることができない、学習意欲が湧かない、こころやからだに不調がある、などの理由で休学を検討する場合、保健センターや学生総合支援室に相談してください。カウンセリングが希望であれば、保健センターのホームページ等から予約することもできます。医師・保健師もいますので、治療が必要かどうかなど、相談に乗れます。どうぞ遠慮なく、相談に来てください。

- 学業の問題で休学する時は？
→学業の問題で休学する時は、指導教員や各キャンパスの教務係にあらかじめ確認しましょう。

- 経済的な理由で休学する時は
→日本学生支援機構奨学金や民間の奨学金で、経済的な支援が受けることができるかもしれません。各キャンパスの学生係に相談・問い合わせてください。

- 留学生が休学する時は？
→在留資格の活動（大学で教育を受ける）を行っていない期間が3か月を超えると、在留資格の変更など行う必要がありますので、まずは、各キャンパスの学生係に問い合わせてください。



- 休学すると就職に不利になる？
→休学して行うことが自分のキャリアにどのような意味付けとなるかを考えてみてください。
心身の調子を崩した場合には、焦らず、療養に専念しましょう。就活をスタートさせたく
なったら、各キャンパスのキャリア支援室に相談にきてください。

- 休学中の学費は？
→学費の支払いは、半期ごととなっています。4月～9月、10月～3月の半期、あるいは一
年間休学する場合は、その期間は学費の支払いは必要ありませんが、途中からの休学・復学
の場合は、授業料を納めることとなります。休学日・復学日により取扱いが異なりますので、
各キャンパスの教務係にお問い合わせください。

- 奨学金はどうなる？
→日本学生支援機構奨学金については、異動届の提出が必要となります。民間の奨学金につい
ては、それぞれの規定に基づき手続きが必要となります。いずれの場合も、各キャンパスの
大学院係・学生係にお問い合わせください。

- 授業料免除の申請をしている場合は？
→休学する場合には、授業料免除申請を辞退しなければならないので、各キャンパスの大学院
係・学生係にお問い合わせください。



- 各種証明書及び学割は利用できる？
→休学期間中であっても、各種証明書の発行、学割の使用は可能です。

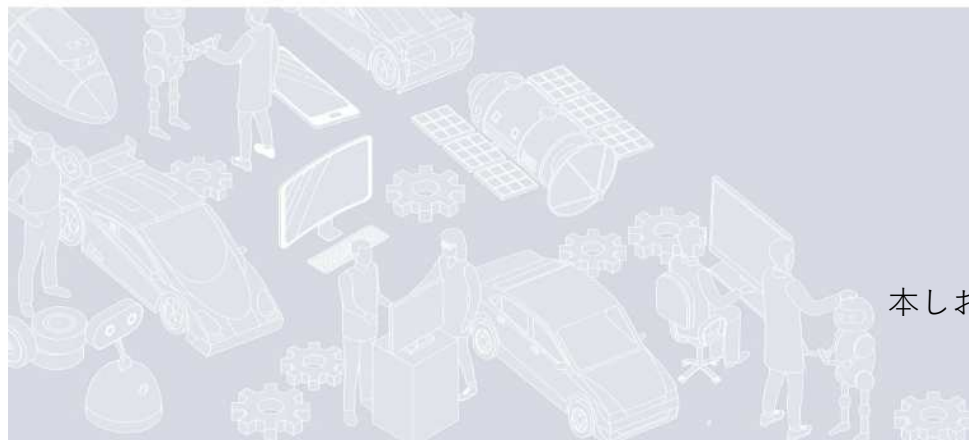
- LiveCampus及び図書館等学内施設は利用できる？
→休学中であっても、附属図書館の利用は可能です。また図書を借りることができます。
ただし、授業は受けることができません。
LiveCampusは2024年8月19日にLiveCampusUに入れ替える予定です。
入れ替えるまでは、休学中にLiveCampusは利用できません。LiveCampusUに入れ替わると履修登録等一部機能が制限されますが、休学中でも利用可能です。

- 休学中の定期健康診断は？
→定期健康診断は受ける必要があります。こころやからだに不調を理由に、休学している場合には、大学に来るのが難しいかもしれませんが、大学に出ることが出来るのであれば、定期健康診断を受けてください。実施時期などは、保健センターのホームページでご確認ください。

- 復学するには？
→復学後の履修・再履修のガイダンスのため、各キャンパスの教務係に連絡してください。指導教員によるフォローも受けることができますので、指導教員に連絡しても大丈夫です。最初から欲張らず徐々に復帰を検討するための、カウンセリングで相談もできます。



未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」



本しおりを作成するにあたり次の資料を参考にさせていただきました。
・筑波大学「休学・復学するあなたへ」
・神奈川大学「休学・復学を考えているあなたへ」